

NEWS RELEASE

残り湯の熱を回収する機能を搭載した機種をはじめ、省エネ性を向上
三菱エコキュート新商品発売のお知らせ

三菱電機株式会社は、三菱エコキュートの新商品として、残り湯の熱を回収する「ホットリたーん」機能を搭載した10機種をはじめ、三菱HEMS^{※1}と三菱太陽光発電システムとの連携で、天気予報などを活用し、夜間わき上げ量^{※2}を最適化する計47機種を発売します。

発売日は、上位機種の「Pシリーズ」9機種が8月31日、「Sシリーズ」21機種と「Aシリーズ」17機種が7月31日です。

※1: Home Energy Management System

※2: 翌日の給湯に必要なお湯を前夜にわき上げる量



ヒートポンプユニット 貯湯ユニット

新商品の特長

1. 残り湯の熱を回収する「ホットリたーん」機能で省エネ性を向上、年間給湯保温効率4.0を達成<Pシリーズ 370L機種「SRT-P374UB」「SRT-P374B」>

- これまで捨てていた残り湯の熱を貯湯ユニットに回収して再利用する「ホットリたーん」機能を搭載^{※3}、残り湯の熱を翌日の給湯に活用
- 「ホットリたーん」機能の搭載や断熱性能の向上、ヒートポンプユニットの効率向上により、年間給湯保温効率4.0^{※4}（当社従来機種は3.8）を達成
- これらにより、給湯に使用するエネルギーを当社従来機種比約5%削減し、家庭の消費エネルギーの削減に貢献

※3: Pシリーズ9機種中6機種（370L機種と460L機種の一般地向け角型ハイパワー給湯タイプ、一般地向け角型高圧力給湯タイプ、寒冷地向け角型ハイパワー給湯タイプ）、Sシリーズ21機種中4機種（370L機種と460L機種の一般地向け角型ハイパワー給湯タイプ、一般地向け角型高圧力給湯タイプ）に搭載

※4: JIS C 9220:2018に基づき、ふろ熱回収機能（ホットリたーん）を用いた測定値。「1年間に使用する給湯と風呂保温に係る熱量」÷「1年間に必要な消費電力量」で算出

2. 天気予報を用いた夜間わき上げ量の最適化で、余剰電力の自家消費を促進

- 三菱HEMSと三菱太陽光発電システムとの連携で、天気予報と過去の太陽光発電量データを活用し、夜間わき上げ量を最適化^{※5}。太陽光で発電した昼間の余剰電力によるわき上げ量を増やし、余剰電力の自家消費を促進し、買電量を削減

※5: 三菱HEMS、三菱太陽光発電システム、インターネット回線および2018年11月発売予定の当社製HEMSアダプター「GT-HEM3」が必要

発売の概要

商品名	シリーズ	主な搭載機能	タンク容量	希望小売価格（税抜き） ^{※6}	機種数	発売日	月産台数
三菱 エコキュート	Pシリーズ	ホットリたーん ^{※3} ホットあわー バブルおそうじ	370L ～550L	880,000円～ 1,105,000円	9機種	8月31日	12,000台
	Sシリーズ	ホットリたーん ^{※3} バブルおそうじ	370L ～550L	800,000円～ 1,085,000円	21機種	7月31日	
	Aシリーズ	—	370L ～550L	685,000円～ 930,000円	17機種		

※6: 本体価格のみ（リモコンは別売）

発売の狙い

家庭内における電力消費エネルギーの約3割を給湯が占めており^{※7}、大気の熱を利用してお湯をわかすことで電力消費量とCO₂排出量を抑えるエコキュート（自然冷媒CO₂ヒートポンプ給湯機）が、環境への配慮の観点からも注目されています。

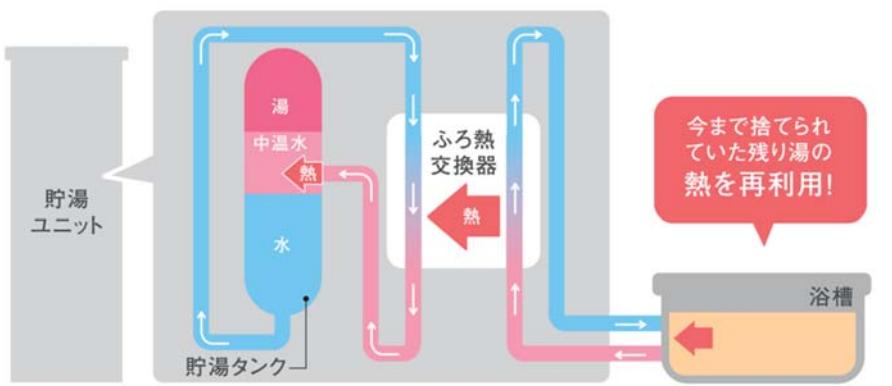
当社は今回、残り湯の熱を回収する「ホットリたーん」機能を搭載した機種をはじめ、三菱HEMSと三菱太陽光発電システムとの連携で、天気予報などを活用し、夜間わき上げ量を最適化する「三菱エコキュート」の新商品47機種を発売します。

※7：一般財団法人 省エネルギーセンター「EDMC/エネルギー・経済統計要覧（2018年版）」より

特長の補足

1. 「ホットリたーん」機能

浴槽の残り湯の熱だけをタンクに戻し、翌日の給湯に効率よく活かす機能です。お湯を戻すのではなく、熱だけをふろ熱交換器を経由して、貯湯タンクに戻すため、貯湯タンク内のお湯と浴槽のお湯は混ざりません。



2. 太陽光発電システム連携機能

三菱HEMSと接続し、スマートフォンやタブレットで容易に三菱太陽光発電システムとの連携運転を設定できます。従来機種で搭載していた「売電優先」「余剰活用」「太陽光発電出力制御連携」機能に加えて、「余剰活用」における新たな機能として、三菱HEMSで取得した天気予報と過去の太陽光発電量データから、夜間わき上げ量を最適化する機能を搭載しました。各家庭のニーズに合わせた機能の選択・変更ができます。

機能項目	ケース	具体的な動作
売電優先	太陽光発電システムで創った電力を積極的に売りたい場合	昼間のエコキュートのわき上げを停止し、電力の使用を抑制して売電量を増加
余剰活用		
従来機能	太陽光発電システムで創った電力を積極的に活用したい場合	余剰電力をお湯のわき上げに活用し、電力会社からの買電を抑制
新機能	太陽光発電システムで創った電力をさらに積極的に活用したい場合	翌日の太陽光発電量により夜間わき上げ量の最適化を実施。昼間のわき上げをさらに増やし、余剰電力の自家消費量を増やすことが可能。夜間わき上げ量は設定により変更可能
太陽光発電出力制御連携	太陽光発電の出力制御が電力会社から出された場合	出力制御中に、余剰となった電力をわき増しなどで有効利用

その他の特長

1. 「ホットあわー」機能

浴槽内に微細な泡を発生させる機能で、入浴後、湯冷めがしにくくなる効果があります。

2. 「バブルおそうじ」機能

マイクロバブルを活用し、ふろ配管を自動洗浄する機能です。

主な仕様

システム	形名	SRT-P374UB	SRT-S374U	SRT-W374
	シリーズ	P シリーズ	S シリーズ	A シリーズ
	適用電力制度(申請予定)	季節別時間帯別電灯、時間帯別電灯(通電制御型)		
	定格電圧(周波数)	単相 200V(50/60Hz)		
	最大電流	16A		
	わき上げ温度範囲	約 65～約 90°C		
	年間給湯保温効率(JIS) ^{※8} (ふろ熱回収あり / ふろ熱回収なし)	4.0/3.8	3.7/3.6	3.3
	区分名	17	17	17
貯湯ユニット	形名	SRT-PT374UB	SRT-ST374U	SRT-WT374
	タンク容量	370L		
	ホットあわー	○	—	—
	バブルおそうじ	○	○	—
	ホットリターン	○	○	—
	太陽光発電システム連携機能	○	○	○
	ふろ機能	追いだきフルオート		
	外形寸法(高さ×幅×奥行)	1830×630×760mm		
ヒートポンプユニット	質量(満水時)	未定	未定	未定
	通常使用圧力 (水側最高使用圧力)	290kPa (320kPa)	290kPa (320kPa)	180kPa (193kPa)
	形名	SRT-LU454-P	SRT-MU454-S	SRT-MU454-AW
	外形寸法 (高さ×幅×奥行)	715×809(+70 ^{※9}) ×300mm	715×800(+70 ^{※9})×285mm	
	質量	未定	未定	未定
	中間期 ^{※10} 標準加熱能力／消費電力	4.5kW/未定	4.5kW/未定	4.5kW/未定
	運転音(音響パワーレベル) ^{※11} (中間期 ^{※10} ／冬期 ^{※12})	51dB／56dB		

※8：算出条件は、わき上げモード「おまかせ」での、着霜期給湯モード性能試験時のわき上げ温度 65°C、冬期給湯モード性能試験時のわき上げ温度 65°C

※9：配管カバー寸法

※10：動作条件：外気温(乾球温度／湿球温度) 16°C／12°C、水温 17°C、わき上げ温度 65°C

※11：運転音は JIS C9220:2018 に準拠し、反響音の少ない無響室で測定した数値です。実際に据え付けた状態で測定すると、周囲の騒音や反響を受け、表示数値より大きくなるのが普通です

※12：動作条件：外気温(乾球温度／湿球温度) 7°C／6°C、水温 9°C、わき上げ温度 90°C

「エコキュート」の名称は電力会社・給湯機メーカーが自然冷媒 CO₂ ヒートポンプ給湯機を総称して使うペットネームです。

特許

国内 14 件(出願済み)

製品担当

三菱電機株式会社 群馬製作所
〒370-0492 群馬県太田市岩松町 800 番地
TEL 0276-52-1111(代表)

お客様からのお問い合わせ先

三菱電機お客さま相談センター
TEL 0120-139-365